

令和元年度

事務事業外部評価

評価結果報告書

令和元年 12 月

蕪崎市事務事業外部評価委員会

この「評価結果報告書」は、令和元年10月28日、11月1日に実施した蕪崎市事務事業外部評価委員会による評価をもとに作成したものであります。

1 実施内容

令和元年度評価対象事業は、内部評価63事業の中から、事前に外部評価委員が希望した事業を中心に24事業を対象として選択しました。

日時：令和元年10月28日（月）及び11月1日（金）

会場：蕪崎市役所4階 403会議室

公開の有無：一般公開

評価方法：事務事業評価シートによる聞き取りを行い、委員評価の多数決で採択

2 評価結果

「拡大」は3事業、「全部改善」4事業、「一部改善」14事業、「継続」3事業となり、「縮小」及び「廃止」と評価された事業はありませんでした。

各評価の概要は、以下のとおりです。

○「拡大」：3事業

市民交流センター管理運営事業、環境教育事業、ごみ減量アクションプラン推進事業

まず、市民交流センター管理運営事業は、市民交流センター ニコリの管理運営経費です。市民交流センターには、図書館、公民館、子育て支援センターなどがあり、あらゆる世代が集い、交流でき、機能を十分に果たしている。蕪崎駅前という立地も生かし、より魅力的なものにしていく工夫を今後も続けていただくことを望み、拡大としました。

次に、環境教育事業は、子どもを対象に、環境学習会・キッズ ISO 等を行い、環境問題に対する意識と理解を深め、環境保全・美化の推進の推進を図ることを目的とした事業です。環境問題は現代社会の重要な課題であるため、幼少期からの継続した環境教育を学校とも連携し、より充実した事業となることを望み、拡大としました。

最後に、ごみ減量アクションプラン推進事業は、市民、事業者及び市が一体となりゴミの減量に取り組む「ごみ減量アクションプラン」に基づき、目標年度までにごみの排出量を削減するため、説明会や環境学習会などを通じて周知する事業です。ごみの減量は重要な課題であるため、市民の意識レベルをさらに上げ、記名、有料化を行うなどの取り組みも必要ではないかと考え、拡大としました。

○「全部改善」：4事業

定住対策促進事業（移動販売）、福祉の日記念まつり開催事業、学力向上フォローアップ事業費、青少年対策事業

まず、定住対策促進事業（移動販売）は、移動手段を持たない高齢者等の買い物弱者のために、食料品や日用品等を搭載した移動販売車を巡回させる事業です。買い物弱者への対応は必要であるが、利用状況からみても、宅配等其他の方法の検討が必要であると考えます。

次に、福祉の日記念まつり開催事業は、高齢者、障がい者、児童及び地域住民が交流し、市民の福祉に対する理解の促進及び福祉意識の向上を図ることを目的に実施される事業です。他のイベントとの合同開催を検討するなど、内容の全体的な見直しが必要であると考えます。

次に、学力向上フォローアップ事業費は、基礎学力の定着と学習意欲向上を図ることを目的に、夏季、冬季休暇期間中に補修的な学習支援を行う事業です。参加児童も多く、

効果も期待できる事業と思いますが、学習指導員や実施日数の確保などの課題が多く、改善が必要です。単に縮小・廃止をするのではなく、地域ボランティアを募るなどして、子どもを地域で育てる環境づくりができることを望みます。

最後に、青少年対策事業は、青少年の自立と社会性を身につけ、心豊かな青少年の健全育成を図ることを目的に、青少年育成推進員の活動支援や青少年の社会参加活動を行っている事業です。子どもたちを取り巻く環境の変化にあわせ、望ましい社会参画の機会を提供できるよう見直していただきたいと思い、全部改善としました。

○「一部改善」：14事業

高齢者健診事業、健康教育事業、地域子育て支援センター運営事業、社会福祉協議会支援事業、職員研修事業、持家住宅定住促進助成事業費、定住対策促進事業費（日常生活の体験）、包括的支援事業、学校安全体制整備事業、サッカーのまちプロジェクト事業、赤ワインの丘ブランド化推進事業、健康ふれあいセンター管理事業、中小企業等支援事業、まちづくり推進事業

「一部改善」とされた事業については、常に創意工夫をしながら単に前例を踏襲することなく事業を実施し、課題に取り組んでいていただきたいと思います。なお、「一部改善」の事業評価結果については、結果一覧を参考に効果的な事業実施につなげていただきたいと思います。

以上、各評価結果に対する意見の概要ではありますが、これは断片的な意見でもありますので、詳細は『令和元年度事務事業外部評価委員会開催結果』を参照してください。

3 むすび

今年度は、24の事務事業を対象として評価をしました。個々の事業としては、着実に実施されていると思いますが、今後も、計画、実行、評価、改善といったPDCAサイクルに沿って事業を実施することにより、市民サービスの向上につながるものと考えます。今回の評価を踏まえ、限られた予算の中で、最大限の効果が得られる手法を検討し、今後の市政運営に生かしていただきたいと思ひます。

また、評価対象事業に選定されなかつた事業についても、常に問題意識を持ち、今回の評価結果を踏まえ、より効率的、効果的に実施されるよう改善していただきたいと思ひます。

最後に、第7次総合計画を確実に実行し、市が掲げる将来像の実現のために、取り組まれることを期待しています。

令和元年 12 月 2 日

蕪崎市事務事業外部評価委員会

委員長 井原 久光

委員 保坂 耕

委員 千野 良子

委員 木下 京子

委員 西田 遥